

平成27年度スーパーグローバルハイスクール構想調書の概要

指定期間	ふりがな	ひょうごけんりつひょうごこうとうがっこう				②所在都道府県	兵庫県
26～30	①学校名	兵庫県立兵庫高等学校					
③対象学科名	④対象とする生徒数					⑤学校全体の規模	
	1年	2年	3年	4年	計	普通科 920名	
普通科 (内コース等)	80 (40)	80 (40)	80 (40)		240 (120)	1年 8クラス (内未来創造コース1クラス) 2年 8クラス (内未来創造コース1クラス) 3年 7クラス (内総合科学類型1クラス)	
⑥研究開発構想名	“課題先進国”日本を担い世界へはばたく「未来の創造者」の育成						
⑦研究開発の概要	国際機関、行政機関、国内外の高校・大学、企業等と連携し、グローバル社会の課題解決を目指す文理融合型の4つの課題研究を柱に、「科学的思考力」、「複眼的思考力」、「社会創造力」、「自律的活動力」を兼ね備えた未来の創造者を育成するための国際的、実践的な教育システムを研究開発する。						
⑧研究開発の内容等	⑧-1全体	<p>(1) 目的・目標 「科学的思考力」、「複眼的思考力」、「社会創造力」、「自律的活動力」を備え、グローバル社会で活躍できる未来の創造者を育成するカリキュラムや指導方法の研究開発</p> <p>(2) 現状の分析と研究開発の仮説 平成22年度に総合科学類型を設置し、平成26年度から類型を「未来創造コース」へ改編し、学校設定教科「創造」や専門科目「理数」を通じて、地域の課題解決、自然科学、国際問題の3種類の課題研究を行い、未来を切り拓く人材の育成を図ってきた。また、課題研究以外にもJICA関西、EUIJ関西等と連携してのワークショップやシンポジウム、国際機関や行政機関、企業等を訪問しての政策や企業戦略等についての学習も行ってきた。そして、今年度はスーパーグローバルハイスクール・アソシエイトとしてベトナムでの海外研修を企画。JICAと連携し、ODAプロジェクトの現場訪問やハロン湾の環境改善のための植林活動等を実施した。 これらの取組を踏まえ、海外の高校・大学、国際機関やグローバル企業との連携をさらに深め、東南アジア（ベトナム）の抱える課題について、社会科学・自然科学の両面から解決策を考察する文理融合型の課題研究を行い、実践力に富んだ未来の創造者を育成するため、以下の仮説に基づき研究開発を行う。</p> <p>仮説①：海外フィールドワークを含むグローバルな文理融合型の課題研究や関連する実践活動により「科学的思考力」「複眼的思考力」「社会創造力」「自律的活動力」を備えたグローバル人材が育成される。</p> <p>仮説②：国際機関や海外の高校・大学との連携した課題研究を行うことにより、国際化に重点を置く大学への進学や海外留学等を目指す人材を育成することができる。</p> <p>仮説③：国内大学の留学生や海外の大学生、高校生と交流する機会を増やし、議論したり文化交流を行うことにより、日本人としてのアイデンティティや英語の総合的な運用能力を高めることができる。</p> <p>仮説④：発表会や各種セミナー、コンテスト等への参加機会を増やすことで、論理的・批判的に考え、グローバルな視点に立ち社会に貢献する志、企画力・行動力などの「社会創造力」や自己のキャリアを設計する「自律的活動力」が育成される。</p> <p>(3) 成果の普及 報告書、Webページの活用、本校主催のシンポジウム等のほか、大阪大学など国際化に重点を置く大学と連携して近畿のSGH指定校、県内の高等学校による合同発表会を開催する。また、事業全体を通して、教育プログラム、カリキュラム開発について運営指導委員等から検証評価を受け、成果の普及を図る。</p>					

<p>⑧ -2 課 題 研 究</p>	<p>(1) 課題研究内容</p> <p>①「持続可能な都市と環境」 1年では、コミュニティと社会資本形成、震災後の創造的復興、人工建造物と生物多様性の保全、都市環境と健康格差について学び、神戸の都市計画を作成する。2年では、植物による環境浄化や環境汚染モニタリング、統計分析を学び、ベトナムで現地の大学生・高校生と都市と環境問題について調査・研究し都市計画を作成し、ハロン湾環境浄化プロジェクトへ参加する。さらに、イギリスでヨーク大学等と共同研究を行い、日・越・英を比較し未来の都市モデルを作成する。 連携先：外務省、アジア開発銀行、神戸市、国際防災研修センター、WHO 健康開発総合研究センター、大阪大学、神戸大学、大阪府立大学、ハノイ国家大学、ホンガイ高校、ヨーク大学、セント・オレーブズグラマースクール、日建総合研究所等</p> <p>②「グローバル化と新産業モデル」 1年では、神戸の産業の歴史とグローバル戦略、近郊農業の現状と課題、特産品（山田錦、神戸ビーフ等）について、フィールドワークと研究を行う。2年では、日本企業の技術開発と海外展開について学び、エネルギーシステムや燃料電池の実験・実習を行い、ベトナムで日本企業の工場を訪問し、新しい技術を用いたビジネスモデルを構想する。また、ベトナムの農村の現状と開発、植物の生理機能等について学び、食用・薬用植物の生理機能評価実験を行い、ベトナム農村におけるビジネスモデルを提案する。 連携先：JETRO、神戸市、大阪大学、神戸大学、京都大学、兵庫県立大学、フエ医科薬科大学、東芝、三ツ星ベルト、住友ゴム工業等</p> <p>③「健康環境リスクマネジメント～食と水の環境～」 1年では、神戸医療産業都市、保健所・検疫所・中央卸売市場の実務等について学び、公衆衛生行政や食品の安全衛生のあり方について研究する。2年では、日本とベトナムでの食品や水質についてのサンプル調査を行い、健康環境リスクマネジメントのあり方を研究する。 連携先：神戸市、大阪大学、ベトナム国立栄養学研究所、タイビン医科大学等</p> <p>④「外国人の受け入れと日本のグローバル化」 1年では、神戸における移民・難民受け入れの歴史と現状を調査し外国人受け入れについて政策を提案する。2年では、経済連携協定による外国人労働者の受け入れの講義や難民受け入れについてのワークショップを行い、ベトナムでは、介護士養成についての現地調査や難民が生じた歴史、イギリスでは移民政策やその課題について学び、日本の外国人労働者や難民受け入れについての政策提案や実践活動を行う。 連携先：国連 UNHCR 協会、神戸市、大阪大学、フエ医科薬科大学、ヨーク大学等</p> <p>(2) 実施方法・検証評価 上記の4つの課題研究のうち、①②は未来創造コースの生徒が、③④は普通クラスの選択者がいずれかのテーマを選択し、3年間継続して活動する。3年では、各テーマとも研究成果を論文にまとめ、校内の発表会やシンポジウム、大阪大学等において発表する。なお、論文作成に当たっては、連携先大学の大学院生のピアサポートを活用する。 検証評価については、内部評価（生徒・教員）、外部評価（運営指導委員、保護者等）のほか、京都教育大学教授等の協力を得て検証評価を実施する。</p> <p>(3) 必要となる教育課程の特例等（未来創造コース）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目「創造基礎」「RRE」による「現代社会」の代替 ・学校設定科目「創造応用IL」による「世界史A」の代替 ・学校設定科目で実施する(1)①～③の課題研究による「総合的な学習の時間」の代替
<p>⑧ -3 上 記 以 外</p>	<p>(1) 課題研究以外の研究開発の内容・実施方法・検証評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコスクールの理念に基づくグローバル・シチズン育成の研究 ・グローバル社会に必要な資質・能力を自主的に設計するキャリアプランの研究 ・グローバル社会に求められる英語の4技能を育成する手法の研究 <p>検証評価は、自己評価、生徒・教員のアンケート、大学院生・大学教員の評価</p> <p>(2) 課題研究の実施以外で必要となる教育課程の特例等 ⑧-2 (3)に同じ</p> <p>(3) グローバル・リーダー育成に関する環境整備、教育課程課外の取組内容・実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコスクールへの加盟 ・「グローバル探究クラブ」の設置 ・研究倫理教育推進委員会の設置
<p>⑨ そ 他 特 記 事 項</p>	<p>兵庫県教育委員会と連携し、SGH指定校を中心とする合同発表会を本校が幹事校となって企画・運営する。</p>